あんずぐみだより

～　わくわく発表会特集号　～

平成２９年１２月５日
中央区立久松幼稚園
あんず組担任　　川島　梢

今週末は、いよいよわくわく発表会です。子どもたちは、「あと〇回寝たらわくわく発表会だね！」と、話したり、おうちの方に観てもらえることを喜んだりしながら、当日を楽しみにしています。
あんず組は、『なかよしサーカスはじまるよ！』の劇遊びをします。取り組みの様子をお伝えします♪

表現遊びが大好きなあんず組♪

これまで、学級のみんなで、教師の話やピアノの音を聞きながら、いろいろな動物に変身したり、イメージの中で動いたりすることを繰り返し楽しんできました。一人一人が表情、頭から足のつま先まで全身を使って体を動かしたり、声を出したりしてのびのびと表現することを楽しんでおり、あんず組の子どもたちは表現遊びをすることがとても大好きです。

「なかよしサーカスはじまるよ！」のお話ができるまで…♪

絵本「どうぶつサーカスはじまるよ！」を気に入り、絵本の一場面をまねしたり、サーカスごっこをしたりすることを喜んできた子どもたち。サーカスごっこでは、「みんなでライオンになって大ジャンプをしてみよう！」「今日はうさぎになって綱渡り（床に置いたロープの上を歩く）をしてみよう」など、いろいろな動物になることや、遊具を使っていろいろなサーカスの動きをすることを楽しんできました。次第に、「あの動物も出てきたら楽しいね！」という声があがり、絵本に登場しない動物もたくさんサーカスごっこに登場するようになりました。また、自分の動きを楽しむだけでなく、「がんばれ！」「あのジャンプがすごい！」などと友達のサーカスを観て応援する姿も出てくるようになりました。
サーカスごっこの表現遊びを繰り返ししてきた中で、子どもたちが楽しんでいることや、思い付いたことなどを取り入れながらできあがったのが、この「なかよしサーカスはじまるよ！」のお話です。劇中の台詞や展開も、子どもたちの声を拾いながらつくってきました。あんず組らしさがたくさん詰まったお話を、どうぞお楽しみに！

道具作り（背景・お面・しっぽ）

お話に沿ってサーカスごっこを楽しむ中で、「サーカス小屋があったらいいな」「動物のお面があったらいいんじゃない。本物の動物みたいなお面！」「しっぽも付けたらどう？」などの声が聞かれるようになりました。サーカスごっこをもっと楽しくするために、みんなでサーカス小屋の色塗りや、身に付けるお面やしっぽ作りをしました。お面作りでは、教師が用意したお面の土台に、色画用紙を自分で切り、耳や目鼻などのパーツを付けて作りました。紙を２枚重ねて一緒に切ると同じ形が２つできるという新しく覚えた技法を使い、思い思いに作ることを楽しみました。細かい部分までこだわって作ったお面にご注目ください！

サーカスごっこの様子

サーカス小屋の色塗り

お面作り

いろいろな役を楽しんでから、役を決めました☆

お面をかぶると、あっという間にその動物に変身する子どもたち。はじめは教師が用意したお面を身に付けて、自分の好きな動物になることを楽しんでいました。次第に、まだやったことのない動物にも興味をもつようになり、ほとんどの子が全ての動物を経験しました。
「なかよしサーカスはじまるよ！」の劇遊びを繰り返しする中で、子どもたちは、役になりきって動くことや、同じ役の友達と一緒に動いたり、言葉を言ったりすることを楽しんでいます。また、みんなで一緒にする中で、お話が進む楽しさも感じています。今回のわくわく発表会の取り組みを通して、年中組の子どもたちには【自分なりに表現する喜び】や【みんなで一緒にすると楽しい・みんなが一緒だから楽しい】という気持ちを感じてほしいと願っています。